

【日本遺産】シリーズ⑧

出雲國たたら風土記

鉄づくり千年が生んだ物語



地域に点在する文化や風習、文化財などを一つの「ストーリー」として文化庁が認定している日本遺産。そんな日本遺産に、たたら製鉄に関するストーリーが「出雲國たたら風土記」鉄づくり千年が生んだ物語」として認定されています。

ここでは、日本遺産の構成地域である安来市・雲南市・奥出雲町が共同して、日本遺産の構成文化財を紹介します。

■糸原家住宅（奥出雲町）

糸原家は、江戸時代前期にたたら製鉄を行っていた有名な鉄師御三家（糸原家・櫻井家・田部家）のひとつです。大正13年（1924年）に建てられた近代和風建築は、主屋ほか8棟が国の登録有形文化財に指定されています。

四季折々の彩りを魅せる美しい出雲流庭園は、元はたたら製

鉄の原料である砂鉄を採取した場所、江戸時代末期から約50年かけて完成したと言われています。

たたら資料や家伝の美術工芸品などを展示する「糸原記念館」やカフェが併設されており、美しい庭園や自然の山野を眺めながらゆったりとくつろげます。



▲糸原家住宅

問い合わせ 観光振興課  
☎ 23-3110

関連情報はこちら

右下2次元コード：  
出雲國たたら風土記  
Instagram

左下2次元コード：  
鉄の道文化圏ホーム  
ページ



＝人権尊重社会の実現をめざして＝

シリーズ  
人権を  
考える 77

12月4日～10日は、  
「人権週間」です！

1948年12月10日、国連総会で「世界人権宣言」が採択されました。この日は「人権デー」と定められ、世界中で人権を守る活動を推進する行事が行われています。

日本では、12月4日から10日までの一週間を「人権週間」とし、国民一人ひとりの尊厳や基本的人権を尊重する意識を高めるため、全国で様々な啓発活動が行われます。

安来市でも、「人権週間」に合わせて、毎年人権フェスティバル「つなげて未来や」を開催してきました。今年は12月6日(土)に伯太中央交流センター（わかさ会館）で行います。当日は、地元園児・児童によるステージ発表や中学生の人権作文の朗読、多文化共生をテーマとし



◀人権作文を発表する中学生  
(令和5年広瀬会場)

た講演などを予定しています。詳細は、全戸配布のチラシや市のホームページ、公式SNSなどをご確認ください。

皆様のご来場をお待ちしています。この機会に、改めて人権について考えてみませんか。

問い合わせ 人権施策推進課 ☎ 23-3095

◆12月の「特設人権相談所」

開設日時 12月4日(木)9時30分～12時

場所 安来中央交流センター 第3会議室  
広瀬社会福祉センター 視聴覚室

